

2023 年 12 月 8 日

株式会社ヘッドウォーターズ
(コード番号：4011 東証グロース)

伊藤忠商事「バーチャルオフィス」の生成 AI 及び
Microsoft Fabric 等のデータプラットフォーム活用を支援しました
～ Microsoft Ignite Japan で支援内容が紹介されます ～

AI ソリューション事業を手掛ける株式会社ヘッドウォーターズ（本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下「ヘッドウォーターズ」）と AI ソリューション開発を手掛ける DATA IMPACT JOINT STOCK COMPANY（本社：ベトナム ハノイ市、代表者：Dang Quang Duy、以下「DATA IMPACT」）は、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）の組織横断協業プラットフォーム「バーチャルオフィス」（※1）が取り組むプロジェクト「生成 AI を活用したビジネスの創造」を支援いたしました。

なお、2023 年 12 月 13 日開催の「Microsoft Ignite Japan」において、伊藤忠商事からプロジェクト内容が紹介されます。



■バーチャルオフィスとは

伊藤忠商事の「バーチャルオフィス」は、希望する社員が時間を有効活用しながら、自らが高い関心・熱意を持つ本業以外の案件に携わることが出来るオンライン上のプラットフォームです。2023 年 4 月に正式導入され、2023 年度は 16 案件（※2）を取り扱い、約 80 名の社員が案件毎に新規事業創出に向けた議論を行っています。



今回、「生成 AI を活用したビジネスの創造」プロジェクトが開始されるにあたって、ヘッドウォーターズの生成 AI 活用に関する技術力や実績（※ 3）が評価されプロジェクトパートナーに選定されました。

ヘッドウォーターズは、Azure OpenAI Service や Microsoft Fabric（※ 4）等のデータ基盤プラットフォームの活用に向けた MVP（Minimum Viable Product：成果をより早く簡単に得られるようにする仕組み）の構築を支援しました。

【具体的な支援内容】

- ① ヘッドウォーターズグループから生成 AI 活用に必要な基礎知識、株式会社マネジメントソリューションズからアジャイルコーチング（※ 5）に関するカリキュラムを提供しました。

ハンズオン講義概要 Headwaters

実施回	講義名	講義内容	Work
第1回	AIの基礎知識	・ AI 概要 ・ 機械学習の仕組み ・ データ分析の活用 ・ 組織の課題を解決する	業務上の課題を探す
第2回	生成系AIの基礎知識	・ 生成系 AI / ChatGPT とは ・ GPT-3.5 と GPT-4 の違い ・ 生成系 AI の活用 ・ プロンプトエンジニアリング ・ 日常で使えるプロンプトテンプレート集 ・ ハンズオン：プロンプトエンジニアリング	活用出来るようなデータを探す
第3回	生成系AIの応用知識	・ コンテキスト理解 ・ プロンプトエンジニアリング ・ パラメータチューニング ・ プロンプトチューニング	アイデアソンに向けた自身のアイデア整理 フォーマットへの事前記入
第4回	【対面】アイデアソン	・ アイデアの具体化レポート ・ アイデアの発表	プロジェクトキャンバス作成に向けたアイデアの ブラッシュアップ
第5回	【対面】プロジェクトキャンバス作成	・ プロジェクトキャンバス作成方法 ・ プロジェクトキャンバス作成	プロジェクトキャンバスの作成
第6回	【対面】プロジェクトキャンバスレビュー	・ プロジェクトキャンバスレビュー ・ プロジェクトキャンバスブラッシュアップ	PoC案フォーマット作成
第7回	【対面】企画PoC案作成	・ サンプルデータ解析 ・ 企画作成ビジネスアイデア考案 ・ 企画レビューとブラッシュアップ	PoC案のブラッシュアップ データの収集
第8回	部長・役員陣に向けた企画PoC案発表	・ 部長、経営陣も出席した発表会等	
第9回	【他社開催】アジャイル開発について	・ 別席でオンラインで実施	

Copyright © Headwaters Co., Ltd. 0

- ② アイデアソンを開催して、8つのカンパニーが持つ事業課題を解決するアイデアを多数創出しました。そこからヘッドウォーターズグループのデータサイエンティストとの壁打ちを通じてアイデアを8個に絞り込み、事業企画を詰めました。

What : どんなAIか？

サービス / AI名称

AI名称を記入

AIができること

どんなことが出来るのか

AIによって解決されること

何を實現できるか
何を解決できるか

Why : なぜAIが必要か？

AIが必要な目的

なぜAIが必要か

例)

マイナスを減らす
・不満を減らす

- ・不便を減らす

- ・費用を減らす

- ・作業時間を減らす

・満足を増やす

- ・ 網定を増やす
- ・ 便利を増やす

- ・売上を増やす

- ・付加価値を増やす

背景にある課題

どのような背景があるか

Who : 誰のためのAIか？

具体的なターゲット像 / ペルソナ

顧客	
----	--

取引先

従業員

具体的なターゲット像を記入

Which : どのタイプのAIか？

どのタイプのAIか

どのようなAIを活用するか

例)

- ・ Vision系AI
- ・ 予測AI

- ・ 識別系AI

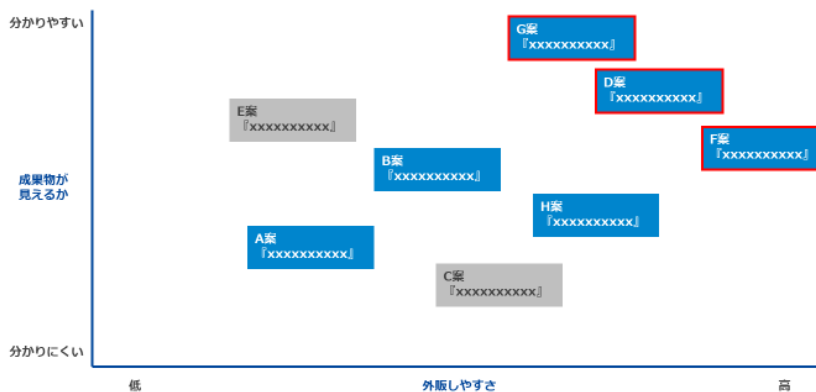
・会話系AI
来市明雄氏

・音声認識系A)

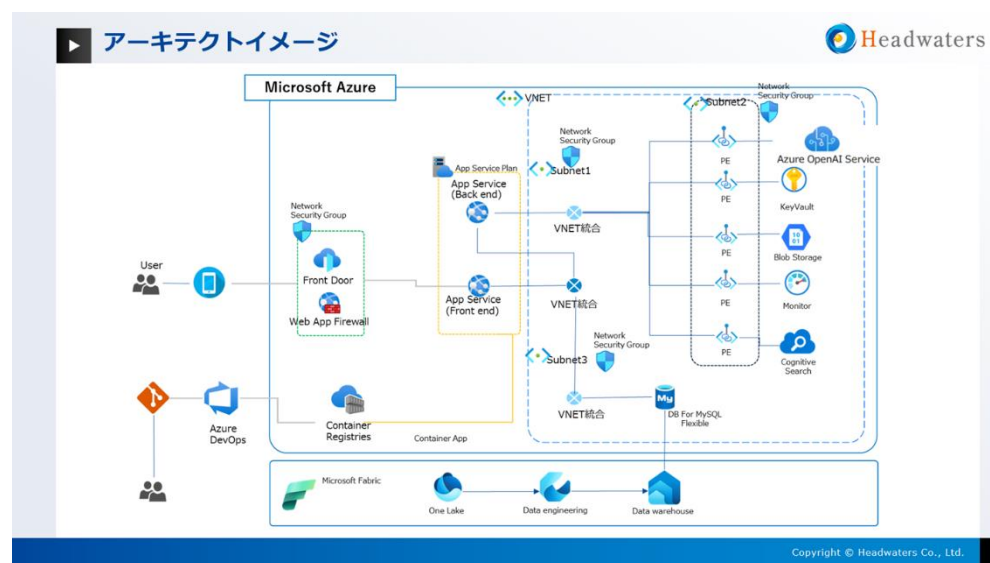
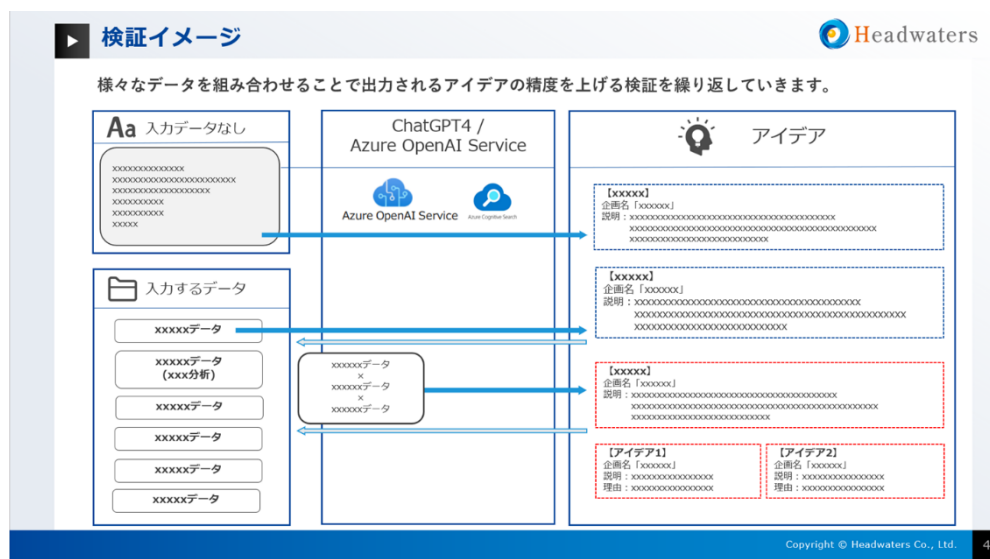
 プロジェクトキャンバス

1.目的・目標 ほとんどケースで異分野の専門家が協業する機械学習のプロジェクトでは素人の理解のない目的・目標を設定することが得意です。 目的・目標は後に変更されても構いません。 本項目に書かれた内容を通してコミュニケーションが成立することが必須条件になります。		10.羅列的・副次的な効果 プロジェクトの目標は、あくまでプロジェクトが成功することです。 しかしその取り組みを通して学びたい事例や他のケースに展開できそうな項目があれば記載します。	
5.データ プロジェクトに用いるデータを取扱します。 公開されている情報など、社外のリソースとのやり取り方が記載します。 開始時にはオープンデータなど、適用時には開発者コミュニティなどインターネットを介した関わり方が中心です。 機械学習プロジェクトの成否の95%以上は、データで決まります。 データの量は多い方が精度が上がります。	8.計算方法・インフラ プロジェクトに用いるアルゴリズムや計算資源、通信インフラなどを記載します。 機械学習プロジェクトにおける成功を判断するには、可能な限り定量的結果を、随分受け取り取りに移す場合と、随分受け取り自動的にプロジェクトを私に引き継ぎ場合があります。	4.成功の指標 先に定めた目的・目標を評価するための客観的な指標です。 機械学習プロジェクトにおける成功を判断するには、可能な限り定量的結果を、随分受け取り取りに移す場合と、随分受け取り自動的にプロジェクトを私に引き継ぎ場合があります。	3.予測の利用法 機械学習システムが完成し、実際に予測が行われたことをユーザが記録します。 予測能力が高くて使いたくないシステムは無価値ですので、完成後に利用されるだけでなく、当初よりユーザを想定し、早期にテストに加わってもらう必要があります。
9.オープン戦略 公開されている情報など、社外のリソースとのやり取り方が記載します。 開始時にはオープンデータなど、適用時には開発者コミュニティなどインターネットを介した関わり方が中心です。	6.過去の知見・アドバイザー ほとんどプロジェクトは過去に何らかの取り組みがなされており、過去の知見を文書にしておくのは成功への道です。 また、知見は文章にならなくても専門家の口の中にあることもあります。		12.モデル更新・メンテナンス 機械学習のモデルはモデルの更新が必要か、長く使おうとメンテナンスが必要な要素は何かを記載します。

▶ アイデアマトリクス



- ③ Azure OpenAI Service や Microsoft Fabric 、 Azure Databricks など最新の生成 AI 及びデータプラットフォーム基盤のアーキテクチャを考案・検証して MVP を構築しました。



伊藤忠商事株式会社 フロンティアビジネス部長 浅野 哲也様のコメント

今回のヘッドウォータース様との取り組みでは、生成 AI を活用し、伊藤忠商事の多岐にわたるビジネスドメインを担当する社員が抱える業務上のボトルネックの解決及び独自のデータ活用方法について検討を進めてまいりました。

生成 AI のインテグレーションサービスに早くから取り組み、Microsoft 製品に精通するヘッドウォータース様のエンジニアの皆さまと、今後も当社の様々なビジネスドメインに同様のアプローチで生成 AI のインテグレーションを進め、新たなビジネスの創出に取り組んで参ります。

株式会社ヘッドウォータース 代表取締役 篠田 庸介のコメント

当社は Azure OpenAI Service の活用を中心にエンタープライズ系企業への生成 AI 導入を支援してまいりました。大企業における生成 AI やデータの活用には、セキュアで効率的な環境構築や適切なプロンプト設計など、いくつかの課題をクリアする必要があります。

その中でも一番の要諦は、顧客企業自体が主体的に生成 AI およびデータ活用を推進する意志を持つことですが、今回の伊藤忠商事様の取り組みはその最大の課題をクリアし、生成 AI とデータを活用した企業の進化を促す可能性があると感じております。今後このスキームが大企業の生成 AI とデータ活用のメインストリームになるのではと期待しております。

当社は引き続き「生成 AI を活用したビジネスの創造」プロジェクトのパートナーとして、ビジネスプラン 3 案の MVP および事業化を支援して参ります。また伊藤忠商事様の外販 AI サービス開発への協力にも取り組んで参ります。

日本マイクロソフト株式会社 執行役員 常務 パートナー事業本部長 兼 ISV ビジネス統括本部 浅野 智様のコメント

日本マイクロソフトは、ヘッドウォータース様の支援による伊藤忠商事様の「Azure OpenAI Service」と「Microsoft Fabric」を活用した新規事業創造の取り組みを心より歓迎いたします。

昨今の AI のトレンドの中で、データの重要性を再認識するユーザー企業様が増加しています。

Microsoft Fabric は、単一の分析環境にデータを統合し、データを利用したい場合にスピーディに集め、活用できることにフォーカスした製品であり、データ分析に必要なテクノロジーをすべて含んでおります。Azure OpenAI リファレンスアーキテクチャ賛同プログラム Advanced Partner であるヘッドウォータース様が持つ生成 AI を生かす実績と、Microsoft Fabric のデータ基盤が合わさることで、よりお客様の業務に根付いた AI の浸透が進むことを期待しています。

今後も、日本マイクロソフトはヘッドウォータース様との連携を通じ、AI の活用を通じたデジタルトランスフォーメーションを推進してまいります。

■伊藤忠商事の Microsoft Ignite Japan 登壇について

伊藤忠商事の「生成 AI を活用したビジネスの創造」プロジェクトが日本マイクロソフトから最先端 AI 活用事例として評価され、Microsoft Ignite Japan への登壇が決定しました。セッションでは、ヘッドウォータースの支援内容も含めたプロジェクトの取り組みが紹介されます。



セッション：【Keynote】 Microsoft Copilot で実現する AI トランスフォーメーション

日程：2023 年 12 月 13 日 10：00～11：30

内容：Microsoft の AI ソリューションがどのようにお客様の変革を支援するのか、Microsoft Ignite での主要なアップデートと日本のお客様事例を交えて紹介します。また GitHub 開発責任者より最新のロードマップもご説明します。

イベント参加申し込みはこちら：[Microsoft Events - Microsoft Ignite Japan \(大阪会場\)](#)

■今後について

ヘッドウォータースでは、伊藤忠商事「バーチャルオフィス」が進める生成 AI を活用した新規事業 3 件を引き続き支援して参ります。

また、本支援を通じて得たノウハウやマイクロソフトとの連携を生かし、Azure OpenAI Service 及び Microsoft Fabric 等のデータ基盤プラットフォーム活用に取り組むエンタープライズ系企業への MVP 構築支援サービスを強化して参ります。

なお、本件による当社の当期業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

※1：組織横断協業プラットフォーム「バーチャルオフィス」の導入について
<https://www.itochu.co.jp/ja/news/press/2023/230222.html>

※2：「バーチャルオフィス」によるフェムテック取組強化について
<https://www.itochu.co.jp/ja/news/press/2023/230727.html>

※3：ヘッドウォータースにおける生成 AI の取り組み

ヘッドウォータースでは Azure OpenAI Service の統合開発を行っております。

https://www.headwaters.co.jp/service/azure/openai_service.html

「Azure OpenAI Service」利用企業向けに LLM 技術のナレッジシェアと伴走支援体制を構築する「プロンプトエンジニアリングラボ」サービス開始

https://www.headwaters.co.jp/news/synclect_generative_ai.html

「Azure OpenAI Service ×音声」による企業向け GPT サービスラインナップについて

https://www.headwaters.co.jp/news/azure_openai_service_gpt_voice.html

Microsoft365 利用企業向けに「Azure OpenAI Service」を最短 1 日から始められる「Power Platform」向け AI チャットボット導入サービス開始

https://www.headwaters.co.jp/news/microsoft365_PowerPlat_azure_openai_bot.html

※4：Microsoft Fabric とは

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/fabric/get-started/microsoft-fabric-overview>

※5：株式会社マネジメントソリューションズと協業開始。 Azure OpenAI Service 活用と組織浸透を包括的に伴走支援する「生成 AI プロジェクトラボ」を提供

https://www.headwaters.co.jp/news/msol_generative_ai_project_labo.html

■商標について

※ Microsoft、Microsoft Ignite、Azure、Microsoft 365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または 商標です。

※ Microsoft 365 は、Microsoft Corporation が提供するサービスの名称です。

※ 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■会社情報

会社名：伊藤忠商事株式会社

所在地：東京都港区北青山二丁目 5 番 1 号

代表者：代表取締役社長 COO 石井敬太

事業内容：繊維、機械、金属、エネルギー、化学品、食料、住生活、情報、金融の各分野における国内、輸出入および三国間取引 等

資本金：253,448 百万円

設立年月：1949 年 12 月 1 日

URL：<https://www.itochu.co.jp/ja/index.html>

■会社情報

会社名：株式会社ヘッドウォータース

所在地：〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階

代表者：代表取締役 篠田 庸介

設立：2005 年 11 月

URL：<https://www.headwaters.co.jp>

■ 本件のお問い合わせ先

株式会社ヘッドウォータース

メール：info@ml.headwaters.co.jp